

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～27℃台を示し、やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の50%（前年並み）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の45%（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の25%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり15kgの水揚げで、前週の54%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり633kgの水揚げで、前週の44%（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり85kgの水揚げで、前週の64%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.5トンの水揚げで、前週の44%（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週を上回った（前年並み）。
- 定置網――五島有川地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり512kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり181kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり460kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり85kgの水揚げで、前週の36%（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり13kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/19～6/23の5日間）沖合イカ釣（冷凍船）は見島沖から能登半島沖に移動。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-16号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>